



Weekly Report

小諸浅間ロータリークラブ

- ◆例会日/週火曜日 12:30~13:30 ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽
- ◆事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 3 階
- ◆会長 / 前田 博志 ◆副会長 / 渡辺 頼雄
- ◆幹事 / 黒澤 明男 ◆ガバ広報・情報委員長 / 新藤 修一



2019~2020 年度
国際ロータリーのテーマ

NO. 1474 令和元年10月1日

◆点鐘	前田 博志 会長
◆SAA	望月 完 委員
◆ソング	君が代・誕生日の歌
◆ゲスト	土屋 壮亮様(小諸青年会議所 理事長) 小林 秀気様(小諸青年会議所 委員長)

◆結婚祝

掛川興太郎会員・久江夫人
中河 邦忠会員・淑子夫人

【会長挨拶】 前田 博志 会長

【吼えろJC】

先週は、飯綱山の草刈、本当にご苦労様でした。朝倉委員長はじめ奉仕活動プロジェクト委員会の皆さんに感謝したいと思います。渡辺副会長さん。強力な助っ人をいつもありがとうございます。

それに続く「松茸パーティー」とっても美味しかったです。とことん松茸三昧でしたね。贅沢させて頂きました。鴨下委員長、青松さん、そして音羽さん。ありがとうございました。感謝しています。次は、牡蠣鍋、すっぽん、上海ガニ、フグ鍋、大騒ぎしています。楽しみにしています。また誘ってください。

さあ、今日は、小諸青年会議所土屋理事長そして、ふるさと魅力発信委員会小林委員長をお迎えして、こもろふれあいフェスティバル、副題、あの時あの場所あの人たちと小諸で、と題し、プレゼンをして頂く事になりました。

青年会議所。今から42年前、私は青年会議所に入りました。スポンサーは中河さんと小山盛夫さんです。ああロータリークラブのスポンサーと同じだと挨拶を寄稿していました。本当に感謝です。あらためて、ありがとうございます。

当時青年会議所は50数名の会員を擁して、血気盛んな若者がいろいろな事をしました。皆で中松井に子供たちが遊ぶ公園を作ったり、市役所南庭でいっぱいの子供たちを集めて竹馬作ったり。数えきれない事をしました。とっても楽しかった。あの頃は社会もイケイケでしたし。

そんな青年会議所も一時は会員がたった5名になり存続さえ危ぶまれた時期を過ごしました。時代は変わっています。

僕がこのロータリークラブに入った時、青年会議所OBは15名もいました。でも今は中河さんと掛川さんの二人だけです。たくさんの時間が過ぎました。

今日は私の挨拶を「吼えろJC」とさせて頂きました。いっぱい吼えて下さい。楽しみにしています。

【幹事報告】 加藤 輝男 副幹事

1. 財)ロータリー米山記念奨学会より 2018 年度決算報告・事業報告
2. 小諸市暴力追放推進協会より「第 29 回暴力追放県民大会」開催案内
日時 11 月 6 日(水)13:00~15:30
場所 諏訪市文化センター
3. 例会変更
佐久コスモスRC 10月14日(月) 定刻受付なし
10月21日(月) 定刻受付あり
11月4日(月) 定刻受付なし
11月11日(月) 定刻受付あり
千曲川RC 10月2日(水) 定刻受付あり
10月9日(水) 定刻受付なし
10月16日(水) 定刻受付あり
10月23日(水) 定刻受付なし
10月30日(水) 定刻受付なし
4. 週報
上田東RC

【本日の配布物】

週報 1473 号、ガバナー月信 10 月号、米山記念奨学事業豆辞典

◆出席報告 中河 邦忠 委員

会員数	21名	出席義務者	21名	免除者	0名
本日		出席	16名		
		事前 MU	1名	76. 19%	
前々回(9/17)		MU	0名	80. 95%	

◆委員会報告

ロータリー財団・米山記念奨学会委員会

矢島 栄一 委員長

・米山記念奨学会特別寄付金お願い

◆ラッキー賞

NO. 9

新藤 修一 君

◆ニコBOX 橋詰 希望 委員

前田 博志君	J C、ありがとう。
中河 邦忠君	結婚祝頂き、ありがとうございます。
橋詰 希望君	小諸青年会議所、土屋理事長・小林委員長ご歓迎申し上げます。「さかみちラプソディ」映画観てきました。
新藤 修一君	土屋理事長さん、ラッキー賞、引いていただき、ありがとうございます。

望月 完君	初めての司会を失敗ばかりでご迷惑をおかけしました。
加藤 輝男君	先日まで消費税の関係でお店・スーパー・デパートとすごく混雑したと思います。皆様も恩恵を受けたこと良いことだと思います。

【本日のプログラム】 『小諸青年会議所認承 55 周年記念事業 ともろふれ愛フェスティバル』
小諸青年会議所 理事長 土屋 壮亮 様
委員長 小林 秀気 様

**ともろふれ愛フェスティバル 一あの時あの場所あの人達と小諸で一**

昨今インターネットの普及などで人と人が対話をしなくても情報共有でき便利な世の中になってきました。ですがその反面で、人と人が直接対話をする機会が少なくなり地域の絆が弱くなってきているのではないかと感じます。だからこそ、より地域の絆を強いものにするためにも今回の事業を行いたいと考えました。この事業では「絆・夢・愛」をテーマに様々なブースを設置し行います。

「絆」は人と人、人と地域、様々な形の絆を強いものに

「夢」は子供達の将来の選択のきっかけづくりの機会と子供から大人の絆を強いものに

「愛」は郷土愛、食を通して郷土の魅力を再確認でき地域の絆を強いものに

それぞれの文字に想いを込め、かつてこどもであった頃大人たちがしてくれたようなその時にしかできない経験や一生の思い出を作る機会を与えてくれたように、今の子どもたち・大人たちに今この瞬間の思い出と、さらに新たなものに触れ再確認し強くすべき絆を見つけれられるよう、尽力したいと考えております。

実施日時 令和元年11月9日(土)10時～17時

会 場 小諸市南城公園(芝生広場)

次週のプログラム: 10月8日 「米山奨学生 卓話」 林 大一 様

次々週のプログラム: 10月15日 「卓話」